

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email: gakko@jpschool.cz

No.897 2017/10/6

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

発表する人と聞く見る人

(校長朝会講話)

今日は、学習発表会も近づいてきたので、発表の話をしたいと思います。学習発表会では、ステージ上で発表する人と観客席で見る人の二つがあります。では、発表したり演技をするのと聞いたり見たりするのでは、どちらが難しいでしょうか。そうですね、聞くよりも、発表する方が難しいに決まっています。今日は、教室での勉強の時間も含めて、みんなの前で話すことについてのお話です。

みんなの前で話すのはなかなか難しいです。うまく話せるかなあ、間違っていないかな、ちゃんと聞いてくれるかなってね。これは誰でもあります。でも、特に小学校低学年の人は、みんなに聞いてほしい、見てほしい、家の人にも見てほしい、そんな気持ちでいっぱいですね。みんながそんな気持ちですから、お友達が発表しているときはしっかりと見る、聞くことも大切なことです。しっかりとお友達の発表は、最後まで聞いて下さい。

学年が上がると、発表がきちんできるとかという心配のほうが大きくなってきます。前に発表したときに、うまくいかないことがあると、それが頭にこびりついて発表が苦手になることもあります。みんなに何か言われるのも心配になります。でも、この気持ちはみんな同じですから、大切なのは上手な聞き手なんですね。発表は難しくそれを聞くのはやさしいと思っていますが、実は上手な聞き手というのは簡単ではありません。上手な聞き手は、話す人の心配やドキドキを感じられる人です。教室に上手に聞いてくれる人が増えれば増えるほど、発表はしやすくなります。みんなでドキドキ感を共有できるといいですね。

そして、もっと学年が上がって中学生になると発表をする人がだんだん減ってきます。つまり自分の意見を言う人が減ってくるのです。うーん、これはなぜだろうか。学年が上がると、発表する内容も難しくなります。話すというのは自分の考えがまとまらなければ、話せません。すると、自分から話すのではなく、聞く方を優先するようになってしまいます。中には、先生が正しい答えを教えてくれるまで考えずに待っている人もいませんか。聞く方は楽ですから、自分の考えを持たなくなってしまうのです。また、自分の気持ちを話すのは簡単ですが、自分の考えをきちんと言うのは難しいことです。だからこそ、話すことは大切なんです。自分の考えは、いつも正しいとは限りません。でも、正しいか正しくないかではなく、まず自分の考えを持つとすることが大切だと思います。

自分の考えをきちんと言葉で話すことで、深く考える人になってほしいと思います。

学習発表会の発表は、決まったセリフや演技ですが、よい話し手、よい聞き手になる練習でもあります。本番に向けて頑張ってください。

== フラハ無料健康相談会のお知らせ ==

主催：欧州日本人医師会

期日：11月4日(土)9時30分スタート

会場：プラハ日本人学校

申し込み方法：医師会ウェブサイト <http://www.eu-jp-doctors.org/>

メールでの受付 yuri@nemoto.uk

申し込み締め切り：健康相談11月2日(木)

※ 詳しくは配布ポスターをご覧ください。



欧州での妊娠・出産・育児に関するご質問、欧州と日本の医療後がへの戸惑い、頭痛、皮膚のトラブル、耳鳴り、肩こりなど、日頃の悩みについてご相談ください。

＝お礼＝

緊急下校訓練でのお子様のお迎えありがとうございました。地元警察の協力も得て良い訓練となりました。

